

満州建国と米沢菊二

(唯一の文官であった、米沢菊二は
この会議に出席し、署名に立ち会った)
左より四人目、眼鏡をかけている

米沢菊二は米沢與三松の次男で、東大を卒業後、外務省に入り外交官になった。彼の外交官生活は、満洲国の承認。

後、松岡外務大臣時代の、枢軸外交に反対し、当時、英国大使であった吉田茂と共に、帰国した硬骨の外交官であった。
満洲事変の関係年表を見ていただきたい。

昭和四年 七月 田中義一内閣総辞職。

昭和五年 四月 ロンドン海軍軍縮条約調印

昭和六年 一月 満蒙鉄道問題で交渉開始

六月 参謀本部 中村震太郎大尉、蒙古で殺害。

七月 万宝山事件(朝鮮農民と中国農民が衝突)

九月 関東軍、奉天近郊柳条湖で満鉄線を爆破。

満洲事変を起す。奉天北大営占領。

朝鮮軍独断越境し満州に入る。

十月 国際連盟、満洲撤兵勧告案を十三対一で可決。

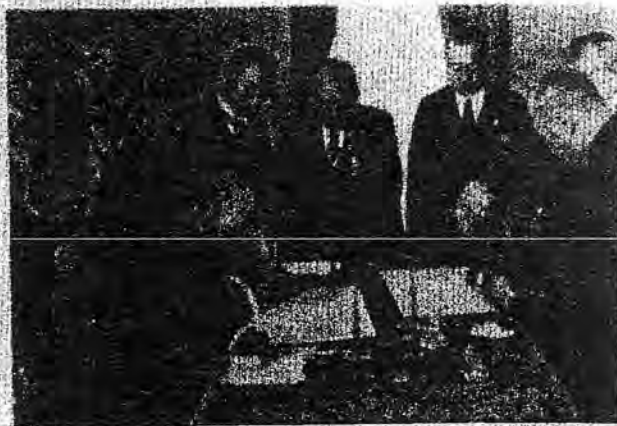
日本拒否。

十一月 日本軍北満州に出動。

満洲国、宣統廃帝、天津を脱出し満州へ

日本軍チチハル占領。

昭和七年 一月 日本軍、錦州占領。



アメリカ、満州の新事態不承認。

第一次 上海事件起こる

二月 日本軍ハルビン入城。

三月 満洲国建国宣言。

九月 日満議定書調印。日本満洲国。

昭和八年 二月 国際連盟、対日勧告案を四十二対一で採決

日本 国際連盟脱退。

